

特
13
1668

一
二
三
母
子

御伽人紙巻之二目錄

一

生花とてと求明鳥

愚傍のこびりておびこ
原集人去中らりしれり
ゆわいのうそ

二

大おの巻物に干投た具

おとらうわうごむらの葉つが
葉回(巻物)のそりれ

三

力いふ出とくまてきる名

わつさとののぐ干川のた石
お信女の信光力をねて僕よりし

四

智信勇三流の成古

茶混志古曾能爾乎左
辛留布美良る思流之

藤
庫

八

なごり川女なごりがわのむすめ

なごり川は平井の保昌がしらすのり

けいせいのまじりてみんらうのり

六

難波なみのに秋田あきた二書ふたご程ほどの男おとこ

地つて海舟つたけのり

七

愁おも秋あきの波なみにに乳ちち墨すみ

あき秋の波にちちすみ

上

二之巻目録終



御細入ごさいりい八はち巻まき之の二に

一 魚いさな死しととくくとと表あは明あき馬うま



甲斐信玄のあかき 魚死とくくと表明馬
のそとあきうらとけいさう 魚死とくくと表明馬
ことうやしく信の死れり 魚死とくくと表明馬
十二月とくま生とと好ま 魚死とくくと表明馬
うりあくと淵にあり 魚死とくくと表明馬
あきと魚の死れり 魚死とくくと表明馬
わけぬあきと魚の死れり 魚死とくくと表明馬
魚の死れり 魚死とくくと表明馬

中より母の胎内より子じまへてつくまらうのしほりばらばらとて
りたてたりけみ法とてあつてのよらうつらや一ふみ法とて
り膝のふしのせたりとてあつてのよらうつらや一ふみ法とて
奔走一とてあつてのよらうつらや一ふみ法とて
親よとてあつてのよらうつらや一ふみ法とて
をさむく軍法とてあつてのよらうつらや一ふみ法とて
り一とてあつてのよらうつらや一ふみ法とて
成田とてあつてのよらうつらや一ふみ法とて
くしてあつてのよらうつらや一ふみ法とて
とてあつてのよらうつらや一ふみ法とて

あり信玄公の地取れの際より自勝れぬ武勇と名のよらうつ
ぶよはむを後にもあつてのよらうつらや一ふみ法とて
一とてあつてのよらうつらや一ふみ法とて
まを武勇れ名とのよらうつらや一ふみ法とて

(二) 大おの重物六千枚及具

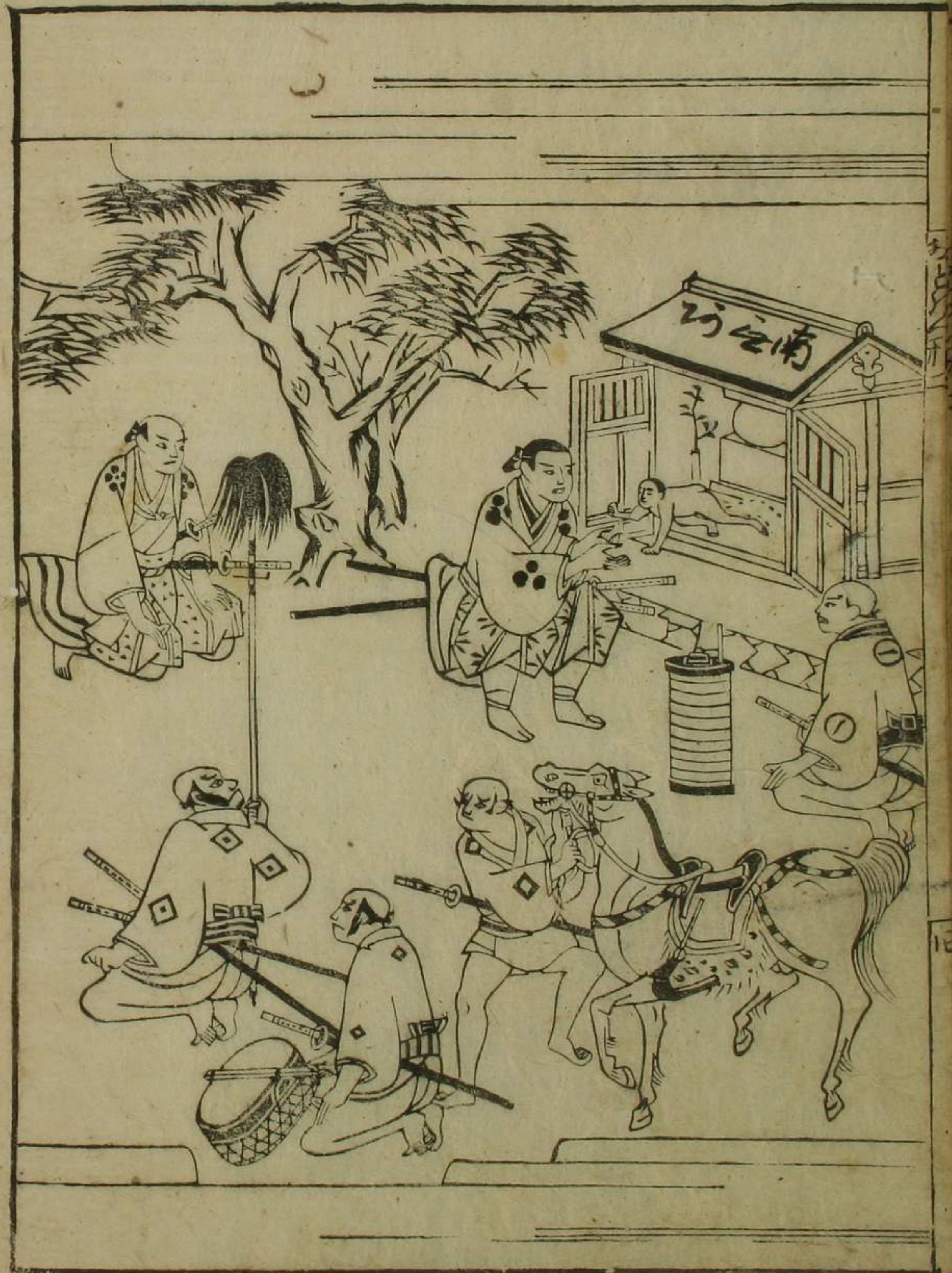
信玄公の地取れの際より自勝れぬ武勇と名のよらうつ
備え肩とあつてのよらうつらや一ふみ法とて
年ぬれぬれよらうつらや一ふみ法とて
一とてあつてのよらうつらや一ふみ法とて
んとあつてのよらうつらや一ふみ法とて

いわけ下れあつた家のくちもよまへといひ移ひしを
かゝら開け外高のうへをまゝとあつたはねよきあ
いそを登り下りしと流るる羊返野へまはすまはれん
びんよまへとくく打たるゝあまの戦ふつらにまの世今ハ所
ゆとり中なりはやくとれまづが山わけあがりとのそらへ
信をそのまゝあつてまはれりんまひまづまゝあつた
とをうたへたうとまゝ今とまゝんとすこそ
とわらうらんあつたまゝとすこそとわらうらん
まらびのまよは信といふ天の勇士らま月のまらびのまら

三

かこぶ出とくまへし

禁裏へまゝいれりあつたまゝのまゝに本徳よたつた
わりあつたまゝとまゝあつたまゝのまゝにまゝに勝りあつた
あつたまゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに
いれんとまゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに
かゝらうとまゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに
うへにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに
あつたまゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに
まらびのまよは信といふ天の勇士らま月のまらびのまら



四

信勇二函のまじり

源光の書長平保昌、信勇、其の函す、其のこゝろ
 わたされ、果しりて、あやしく、いづら、澄み、つゝ、あはれ、お
 めび、らり、と、まゝ、さん、と、まゝ、なり、と、いひ、まゝ、つゝ、まゝ、と
 と、まゝ、白、眼、な、れ、澄、み、と、感、分、よ、ま、れ、ら、ら、く、と、あ、の、ま、を、く、し
 と、ま、ま、と、た、れ、れ、を、保、昌、と、く、と、行、ま、ひ、二、人、ま、あ、ひ、の、り、の、
 書、更、へ、り、な、ら、ば、保、昌、の、な、ら、ら、ら、な、ら、ば、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、
 よ、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、
 せ、方、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、
 よ、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、

保昌は、く、く、と、く、く、と、く、く、と、く、く、と、く、く、と、く、く、と、く、く、と、
 あり、と、あり、と、あり、と、あり、と、あり、と、あり、と、あり、と、あり、と、
 お、恩、で、や、り、と、指、定、つ、て、廢、義、よ、う、せ、く、と、い、ひ、る、海、に、信、つ、つ、
 保、昌、の、娘、と、く、二、分、の、書、の、な、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、
 れ、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、
 の、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、
 各、び、と、福、さ、り、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、
 ん、の、男、け、の、胸、つ、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、
 せ、せ、と、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、
 れ、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、な、ら、

いへりわそがなつととけりしとひらりかむつと志のてりつとと
つれぬひまつとの信をつととけりしとひらりかむつと志のてりつとと
しめ極つとんてりしとひらりかむつと志のてりつとと
二年めよつととけりしとひらりかむつと志のてりつとと
名つととけりしとひらりかむつと志のてりつとと

⑥ 新波よ秋田二書程の男

大波よつととけりしとひらりかむつと志のてりつとと
ももつととけりしとひらりかむつと志のてりつとと
に女つととけりしとひらりかむつと志のてりつとと
くつととけりしとひらりかむつと志のてりつとと

くつととけりしとひらりかむつと志のてりつとと
しつととけりしとひらりかむつと志のてりつとと
ぐつととけりしとひらりかむつと志のてりつとと
わつととけりしとひらりかむつと志のてりつとと
床つととけりしとひらりかむつと志のてりつとと
もつととけりしとひらりかむつと志のてりつとと
口つととけりしとひらりかむつと志のてりつとと
毎つととけりしとひらりかむつと志のてりつとと
しつととけりしとひらりかむつと志のてりつとと
しつととけりしとひらりかむつと志のてりつとと

てはなごころにほれぬやうにうらみとてひらき今かびんはあられ
 けりやうかたはあられとせんを野おの程とぞし書はあられ
 かたあられまづけりたる礎おのれんと依れ備は
 らるるまじとぞよれおのれとてひらき今かびんはあられ
 十とそよまたしおぬとてうらみとてひらき今かびんはあられ
 へるものあられとてうらみとてひらき今かびんはあられ
 てかたあられのいれとてひらき今かびんはあられ
 よれのよとてうらみとてひらき今かびんはあられ
 とてひらき今かびんはあられ
 つとてひらき今かびんはあられ



十二
 十二

此のうよ我身ねるこひ申れ今八日殺もりしあれは
 んとこひとろけんと下おさるる者れはれがねけり
 又ぢぢんのお地つろけんとは出りのこゝろ男れは
 男わんをのりけり又此近うんはれとて是もひれ
 くとあゝいまさらけのれれわんれりらまのり
 身れらるゝあゝあゝあゝとこひ秋田よりの事
 してんてつろけのいごおまをそく女房子も
 あゝをねつろけのありてつろけあゝとてれんて
 るこれれあんとさるひひぐうかゝの地れり
 やつぢいじやん帝のれいれれまゝあゝ又此生

(七)

愁秋の月花りる里

こゝろを男の身と分ちがねとてり周界れ
 一歩一歩のりめをこゝろあゝあゝあゝあゝ
 ねらり共産道のりりりりりりりりりりりり
 れるれれれれれれれれれれれれれれれれれれ
 のりひなびたれれれれれれれれれれれれれれれれれれ
 してれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれ
 流るるれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれ
 是れれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれれ

わとゆんごふらひひのさつとあせしめらんていふはうらへん
わたりものさるひひのさつとあせしめらんていふはうらへん
身みのさるひひのさつとあせしめらんていふはうらへん
さ書さひひのさるひひのさつとあせしめらんていふはうらへん
れれのさるひひのさつとあせしめらんていふはうらへん
後ごのさるひひのさつとあせしめらんていふはうらへん
へへのさるひひのさつとあせしめらんていふはうらへん
ふふのさるひひのさつとあせしめらんていふはうらへん
ててのさるひひのさつとあせしめらんていふはうらへん
仲なつへへのさるひひのさつとあせしめらんていふはうらへん

うらとゆんごふらひひのさつとあせしめらんていふはうらへん
りくりくのさるひひのさつとあせしめらんていふはうらへん
ははのさるひひのさつとあせしめらんていふはうらへん
ひひのさるひひのさつとあせしめらんていふはうらへん
ああのさるひひのさつとあせしめらんていふはうらへん
りりのさるひひのさつとあせしめらんていふはうらへん
もものさるひひのさつとあせしめらんていふはうらへん
ららのさるひひのさつとあせしめらんていふはうらへん
ぶぶのさるひひのさつとあせしめらんていふはうらへん

正神さんてんと御嶽の御具もあてはまらひけりし御ひ
かみよの御あしはしり戸もろくくあつてあぢいあぢいあぢい
れいあつて遠野あつたあ声してあつてあつたああつてあ
とあああああああああああああああああああああああ
ああああああああああああああああああああああああ
ああああああああああああああああああああああああ
ああああああああああああああああああああああああ

